

部会長挨拶



鈴木 洋
(神戸大学)

本年度より粒子流体プロセス部会の部会長を仰せつかりました。部会員の皆様には、本部会の活動にご協力をお願いするかとと思いますが、よろしく申し上げます。

ご存じのように本部会には、熱物質流体工学、ミキシング技術、気泡・液滴・微粒子分散工学、流動層、粉体プロセスの5つの分科会が存在します。それぞれ化学工学の中で主流と言える学問・技術体系であり、屋台骨です。したがって、各分科会活動を強化することが化学工学会全体を活性化することになろうかと存じます。また、それぞれの分科会活動もさることながら、部会本体の活動および部会横断型の活動強化が求められております。これらの分科会横断および部会横断的な活動を通じて、新たな学問分野、技術の創出が期待されており、新生化学工学の核となるべく、本部会の役割が重要となっております。

さらに今後益々の理系離れ、少子化に向けて、本化学工学会の存在意義を、若い研究者にいかによりアピールできるか、また化学産業の中のみならず、多様な産業構造の中でいかに化学工学が生き残っていくかということを考えていく必要があるかと思っております。

皆様から多くのご意見をいただきながら、本部会運営に尽力させていただきますので、よろしくご協力お願いいたします。